

中国の金利引き下げについて

2015年3月2日

2月28日(現地時間)、中国人民銀行は政策金利(貸出基準金利と預金基準金利)を各々0.25%引き下げ、3月1日から適用すると発表しました。これで同国の貸出基準金利は5.35%、預金基準金利は2.5%となりました。

今回の政策金利引き下げは昨年11月以来3カ月ぶりとなります。

《金利引き下げ決定に至った経緯について》

今回の政策金利の引き下げ実施の背景としては、

①中国経済の成長鈍化、②デフインフレの進行などに対し、景気を下支える狙いがあると考えられます。

①国内景気が緩やかな減速傾向にあるなかで、不動産市況の低迷、地方政府債務の積み上がりなど構造的な問題にも懸念がもたれています。

②世界的な商品市況の下落等を背景に国内インフレ率が歴史的な低水準となっており、実質金利の上昇がもたらす企業部門等の負担増緩和が必要とされています。

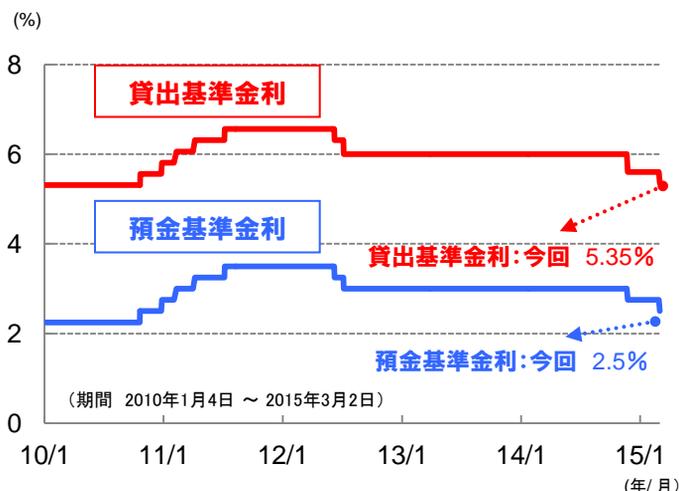
《今後の景気、為替レートについて》

昨年末以来、中国政府は景気刺激策を相次いで導入しています。2月に入っても商業銀行の預金準備率を引き下げたことに加え、中小企業向けの減税措置を実施したほか公共事業を拡大する方針も打ち出しています。

習政権による改革路線の推進にともなう構造問題の露呈が大きな懸念材料として存在するなかで、今後の状況次第では追加金利下げの可能性やその他の政策発動も含め、景気動向にも十分に配慮するという中国政府の強い姿勢を示す狙いがあるようです。

今回の政策金利引き下げを受けた市場は、比較的穏やかな動きにとどまっていますが、中国政府の政策対応の進展はいつその安心感をもって受け止められるものとみられます。

《中国の政策金利の推移》



出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成

《人民元の対円推移》



出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成

- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。
- 投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。